



島根半島・宍道湖中海ジオパークにおける地質遺産の 地質学・古生物学的研究とその活用

総合理工学部 教授 入月 俊明

島根半島・宍道湖中海ジオパークは、松江市と出雲市の全域にまたがり、平成29年12月に日本ジオパークに認定されました。このジオパークのエリア、特に島根半島には、今から約2000万-1000万年前に日本が大陸から分離して、今のような日本列島が形成された時代の地質遺産（ジオサイト）が数多く存在し、それらは海食崖や海食洞のような美しい地形学的景観を形成しています。そのため、いくつかの地点では、地域の方が地質の魅力を観光客や地元の方に知ってもらうジオパーク活動を行っています。他にも潜在的に地質遺産となる可能性の高い場所があり、私の研究室では、そのような場所において、地質や化石に関する調査を行い、その学術的価値を地元の方に知ってもらうための取り組みを行っています。さらに、ジオガイドさんや地域の方と一緒にジオツアーコースの開拓のための地質調査にも取り組み、地域活性化・持続可能な社会づくりに繋げる活動を行っています。



ジオガイドさんとのシーカヤックでの
地質調査



ジオツアー開拓のための古道調査